

社会貢献の取り組み

DCMグループのCSRの方向性は「共働」

ホームセンター事業会社の統合前はDCMグループ各社がそれぞれCSRに取り組んできましたが、2021年3月の経営統合を機にCSRの考え方を整理し、「ONE DCM」としての方向性(キーワード)を「共働」と位置づけました。これは、本業であるホームセンターのコアコンピタンスを活かしつつ、従業員が地域の方々と共にCSR活動を展開することで、地域社会に貢献するだけでなく、当社の経営理念である「Do Create Mystyle 暮らしの夢をカタチに」を体感・共感してもらおう一助になればと考えています。

当社のCSRは環境保護・防災・地域美化の3つを軸に推進しています。これらの領域において、当社の従業員は自身が持つ技術やノウハウの提供を伴いながら社会貢献に努めています。また、CSR活動に参加することで当社の経営理念を体感したり、日々の業務が長期事業構想やSDGsとどのように結びついているのかの理解を深める機会にもなっています。

そこで今回は、当社のCSRの事例として「植樹活動」「資源の有効活用」「防災活動」の事例を紹介します。



環境保護

1. DCMの森プロジェクト

当社の事業はDIYの材料である木材を中心に自然からの恵みによって成り立っていることから、環境保護には特に力を入れています。その一環として2007年度より、北海道を皮切りに植樹活動「DCMの森 プロジェクト」を開始しました。その後、2021年度からは全国で展開し、毎年、1ヶ所の植樹に当社の従業員と家族が60人程度参加しています。2024年度には北海道2ヶ所、東北・中部・四国に各1ヶ所、計5ヶ所に拡大し、これまでの植樹本数は累計で約11万本に及びます。

植樹活動は、森を守る使命を果たすことはもちろん、従業員のリフレッシュや家族との野外活動の思い出づくりなど様々な効果をもたらしています。参加者へのアンケートでは、「他店舗の人たちと交流できてよかった」「参加前の不安も吹き飛ばすくらい楽しかった」「子どもと一緒に貴重な体験ができ嬉しい」「親子で自然・森林保護を学べて勉強になった」などの声があがっています。参加者の多くが次回も参加を望んでおり、従業員の地元愛を育むだけでなく、ロイヤリティの向上にも繋がっています。

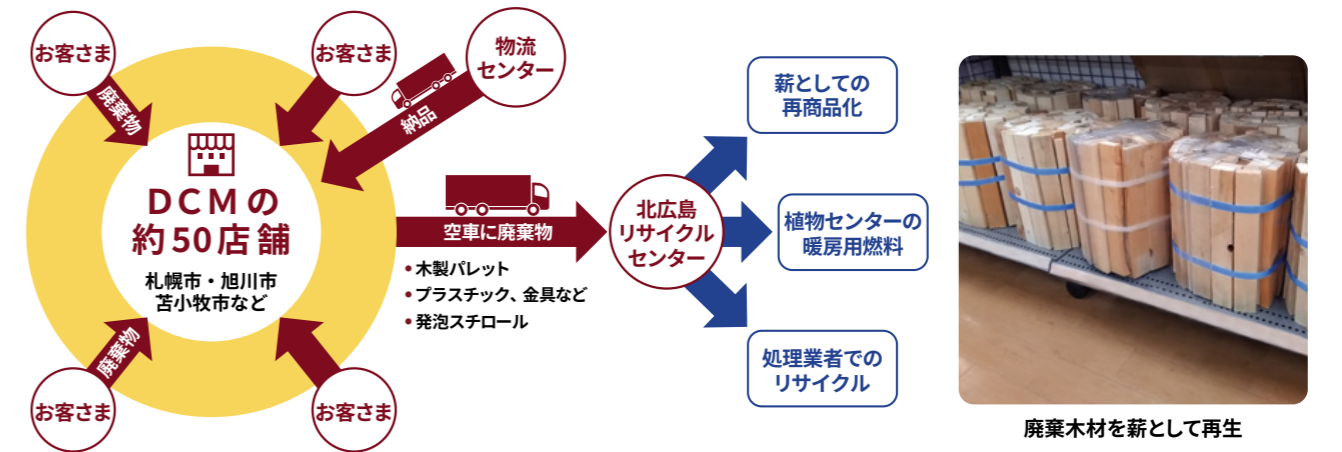


2. 店舗での資源回収とDCM北広島リサイクルセンターでの取り組み

DCM株式会社の各店舗では、使用済みのインクカートリッジやボタン電池・充電式電池、カーバッテリーなどの廃棄物を回収するとともに、一部の店舗では古着や古紙も回収し、環境負荷の低減、資源の有効活用に取り組んでいます。

また、北海道北広島市の当社物流センターに隣接するDCM北広島リサイクルセンターでは、札幌・旭川・苫小牧市内および近郊の52店舗と2つの物流センターの廃棄物(パレット(木

製・プラスチック)・木材・鉄くず・発砲スチロール)を商品納品後のトラックを活用して回収し、リサイクルしています。中でも木材は、人気のキャンプや生活に欠かせない暖房用の薪へ再商品化するほか、当社植物センターの暖房用燃料としても活用しています。廃棄物の削減に繋がるサステナブルな活動のひとつとして試験的に取り組んでいます。



廃棄木材を薪として再生

防災

1. 防災啓発活動「防災DIY」

地域が持続的に発展するための「防災」に関して、ホームセンターはモノを販売するだけではなく最新の知識やノウハウを提供することが大切と考えています。この考え方のもと、自分・家族に合わせた防災を自ら行う「防災DIY」をスローガンに、①店舗での啓発、②地域コミュニティでの展示、③小・中学校での防災授業、を行っています。店舗での啓発や地域コミュニティでの展示では、防災用品を実際に体験していただくことに加えて、何をどれくらい備えたら良いのかをアドバイス

る小冊子も配布しています。防災授業では座学や体験を通じて防災についての理解を深めるだけでなく、災害発生時にとるべき行動などを指導しています。

お客さまからは「最新の防災知識や生き延びる知恵を提供してくれてうれしい」「このやり方だったら、自分でも防災の備えができる」とのお言葉をいただいております。ホームセンター事業を担う企業として、地域の方々のいのちと暮らしを守る活動がいかに大切かを実感しています。

2. 地域協働防災活動

店舗での啓発や地域コミュニティでの展示から一歩踏み出すかたちで、高齢者等要支援世帯を地域の人々でサポートする地域協働防災を当社が提案・主導し、2022年6月に全国初の産官学民による協働スキーム「新たな備えサポート隊 in 松山」を立ち上げました。実行委員会(趣旨に賛同する地元企業・団体が構成)が、愛媛県松山市・愛媛大学と協定を結び、希望する高齢者等要支援世帯を支援します。毎年、地元のボランティアをサポーターとして育成・組織し、市内の100世帯超を訪問して防災に関する最新情報を案内したり、家具の転倒防止器具などの取り付けを行っています。今後、松山市での

取り組みをモデルケースに、災害危険度の高いその他の地域に対しても活動を検討していきます。

